

◆進学状況

平成25年度から27年度の松高の進学状況を見ると、年々、国公立大学、私立大学、私立短期大学などへの進学が増加しています。

これは、1年次から進学指導を行って、基礎学力の養成と、きめ細やかな個別指導と力を入れて、成果が出ているものと思われま。

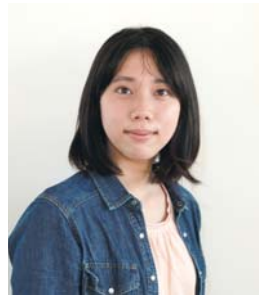
松高では、進路選択を支える教育として松高独自のキャリア教育を行っています。学力向上とともに地域に

貢献できるような人材育成にも力を入れていきます。

《松高独自の取り組み》

- ①スタディサプリ
(予備校の授業を動画配信)
- ②高大連携事業
(3年間で6講座受講)
- ③なるには講座
(複数の職業人による講演)
- ④早朝・放課後補習、土曜補習の実施
- ⑤学習会、学習台宿の実施
- ⑥資格取得の対策

Voice.3



長崎県立大学地域創造学部
公共政策学科1年

平江由貴子さん
(松高52回生・調川中出身)

私は3年間、松高への就学支援制度を受けていました。

支援制度のおかげで、教材費や検定料が半額になり、経

済面の負担が軽くなることで伸び伸びと勉強に励むことができました。

特に、私は大学受験のために模擬試験を多く受験し、補習教材を買うことも多かったため、この支援はとてありがたかったです。

現在、私は大学で学んでいます。松高が支援してくださる学びやすい環境で勉強に励むことができました。

将来は、松高のために、今まで支援していただいた分を恩返ししていきたいと思えます。ありがとうございました。

普通科では、生徒一人一人の進路目標を実現するため、受験タイプ別のカリキュラムで学力を養成しています。1・2年生では夏季学習会を行い、大学のオープンキャンパスに参加しています。3年生では学習台宿を実施しています。

大学への進学を考慮して市外の進学校と言われる高校へ進学する市内中学生も少なくありません。しかしながら、市外の進学校と松高生の進学実績は、受験者の割合で見ればさほど変わらないのが現状です。

松高では、学力の向上を図るとともに、将来は地元に戻り、郷土発展に貢献できるような人材の育成を目指しています。

中学3年生の皆さんは、これから夢に向かって進路を決めていく時期になります。オープンスクールは、その学校の魅力を実際に見て感じることのできる絶好の機会です。ぜひ、松高生たちの姿を間近で見て、松高の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

松高の進学状況（平成25年度～27年度）

年度	国立大学	公立大学	私立大学	大学 校等	国公立 短期大学	私立 短期大学	高専・ 医療技術	准看・ 福祉系	一般 専門学校	計	主な進学先 (国公立大学)	主な進学先 (私立大学)	主な進学先 (私立短期大学)
25	6	5	10	0	0	5	8	1	21	56	九州大学 長崎大学 佐賀大学 宮崎大学 山口大学 長崎県立大学 下関市立大学	上武大学 亜細亜大学 東京工芸大学 日本体育大学 神奈川大学 関東学院大学 天理大学 ほか	長崎短期大学 中村学園大学 短期大学部 香蘭女子短期大学 貞静短期大学
26	2	3	14	0	0	8	5	2	23	57	山口大学 琉球大学 長崎県立大学	活水女子大学 西九州大学 崇城大学 国際医療福祉大学 熊本学園大学 第一工業大学 梅光学院大学 ほか	長崎短期大学 佐賀女子短期大学 福岡女子短期大学 福岡こども短期大学 九州女子短期大学
27	5	6	18	0	0	12	7	4	32	84	熊本大学 長崎大学 琉球大学 島根大学 長崎県立大学 名桜大学 高知工科大学 島根県立大学	長崎国際大学 九州産業大学 福岡工業大学 筑紫女学園大学 久留米大学 九州栄養福祉大学 西九州大学 ほか	長崎短期大学 中村学園大学 短期大学部 福岡女子短期大学 香蘭女子短期大学 純真短期大学 ほか

松高生の心に火を灯す!
「カタリ場」でキャリア学習



「カタリ場」とは、NPO法人カタリバが高校生を対象に、学生のボランティアスタッフが中心となつて約2時間の授業で高校生と本音で語り合う授業です。高校生の進路意欲を高め、こんな大人になりたいという憧れや目標へと背中を押してくれるきっかけづくりとして行われている「動機付け学習プログラム」です。



平成28年3月に、「カタリ場in松高」が、長崎県内では初めて松高で開催されました。「カタリ場」には、これから進路選択を考えていく2年生が参加し、親でも先生でもない「ナナメの関係」の少し年上の先輩である大学生の体験談を聞き、悩んでいることや疑問に思ったことなど、さまざま質問をぶつけ、熱心に語り合いました。

今後も、自分を見つめ直し、将来を考えるきっかけづくりの場として「カタリ場」を開催していく予定です。

Voice.4



普通科3年
山本萌香さん 志佐中出身

昨年度参加した「カタリ場」はとても貴重な経験になりました。

初めて出会う先輩も、高校生の時期に自分と同じような思いを抱えていたことを知り、心強くなり、何より、先輩方との他愛のない会話がとても楽しく、言葉にし難いくらい充実した時間でした。「カタリ場」の時間は今後忘れることはないと思うし、つらいときや苦しいことを乗り越える力となると思います。カタリ場でたくさん先輩方と出会えたことが本当にうれしいです。

私たちにこのような体験をさせてくださった松浦市や、カタリ場に携わってくださった多くの方々への感謝の気持ちでいっぱい입니다。

経済支援から「松高の魅力向上」支援へ

友広 郁洋市長



本市をはじめ、多くの市町村で人口減少が進んでおり、その原因のひとつに若者の地域外への転出があります。本市では、松浦高校や近隣の高校を卒業後、就職や進学に伴って多くの方が転出されます。

若者に地元に残ってもらうためには、まず、「魅力あるしごと」を創ることが重要で、このことには、地元企業をはじめ、行政や地域が一体となつて取り組む必要があります。雇用を創出することに加え、既に取り組んでいる子育て環境の充実や住宅の整備によって、卒業後の定住や転出した方たちのUターンにつなげたいと

考えています。

また、定住やUターンを促すためには、しっかりと高校を卒業するまでに郷土愛を持っていただくことも大切であると思います。

就職・進学を問わず、子どもたちの進路をめぐる環境が大きく変化している中、社会的・職業的自立に向けて必要な能力を育てるキャリア学習が重要視されており、導入する高校が増えています。

高校生がキャリア学習等を通して生きる力を身に付けていく上で、行政や地域が連携することで郷土への愛着心も生まれると考えます。

生徒に松浦の魅力や課題などもっと知ってもらおうとともに、地域の人たちにも生徒たちを知ってもらおう。

高校生の学びと成長の機会が地域全体の活性化につながり、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」と思い、地域も「活かしたい」と思う「魅力ある松浦高校」となることに期待をし、支援を行ってまいりたいと思います。